

**2012年 APLAC（アジア太平洋試験所認定協力機構）**  
**第18回総会および関連会議報告**

2012年12月13日  
独立行政法人 製品評価技術基盤機構  
認定センター（IAJapan）

**1. 全体**

本総会は、2012年12月1日(土)～7日(金) APLAC創設20周年の会合として APLACの中心組織である NATA が位置し、かつ法人登記地である豪シドニーで開催された。

本総会へは、APLAC 議長である Chang Kwei Fern（シンガポール SAC）はじめ、オーストラリア、中国、香港、インドネシア、日本、韓国、台湾、マレーシア、シンガポール、ニュージーランド、タイ、米国、カナダ、メキシコ、ベトナム等の正会員及び賛助会員ならびに PTB, PAC, IAF, ILAC, UNIDO 等、関係機関から約 130 名が参加した。日本からは IAJapan のほかに、JAB から 5 名 VLAC から 2 名の計 14 名が参加。

**2. 総会**

**(ア) 2014 年開催を予定している PAC・APLAC 合同総会について**

PAC との合同総会の可否について審議・投票の結果、2014 年の総会は、メキシコ（ホスト機関：ema）において PAC、APLAC の合同総会の形式で実施され、また、2 年間（2014&2015）は合同総会の形式で実施することとなった。

**(イ) 技術委員会報告関係**

標準物質生産者認定の技術的事項（認定範囲の記述方法）について、技術委員会からの提案によりワークショップを開催して解決を図ることとなった。議場外にて、日本でホストの用意がある旨の表明を行った。（開催予定時期は、2013 年 7 月～9 月）

**(ウ) 議長、理事、各委員会議長の改選等について**

- ・ 本総会で選挙を実施し、議長、理事 4 名、MRA 評議会議長の交代があった。
- ・ 議長：Nigel Jou（台湾 TAF） 新任（前理事）
- ・ MRA 評議会議長：Roxanne Robinson（米国 A2LA） 新任（前理事）
- ・ 理事：

Anil Relia（インド NABL）

Barry Ashcroft（ニュージーランド IANZ）（前 MRA 評議会議長）

W.W.Wong（香港 HKAS）

植松慶生氏（日本 JAB。但し、1 年任期の枠）

以上の理事はすべて新任。理事の残り 1 名も現職定年で後任者に交代予定。

- ・ 理事会には、前 APLAC 議長：Kwei Fern Chang（シンガポール SAC）も 1 年間参加。
- ・ 全委員会議長（教育訓練、技術、広報、技能試験（奈良氏）、（選挙管理））：再任

**(エ) 2022 年までの戦略的計画が策定された。**

**3. MRA 評議会**

- ・ MRA 署名関係では 7 機関の審議が行われ、一部の機関について附帯条件があったものの、すべての機関の MRA 署名地位の承認、範囲拡大、継続が認められ、MRA 参加機関は 35 となった。
- ・ 技能試験プロバイダー（PTP）関係の受付は 2014 年から、また、MRA 署名範囲拡大発効は 2015 年を予定していることが確認された。

- ・ 検査機関認定に係る国際規格 **17020:2012** の発行に伴う移行は規格発行から **3年**とし、それまでのすべての認定済み機関の移行を終えることが確認されたが、新規申請に係る縛りについては標準物質生産者認定の時のような **2年前**には原則禁止とするような条件は設定せず、移行期間内であれば、旧規格による申請、承認はぎりぎりまで可とされたことに留意。

**4. 技能試験委員会** (略)

**5. 教育訓練委員会** (略)

**7. 技術委員会** (略)

**8. 今後の主な予定**

2013年3月14, 15日 MRA 評議会 (シンガポール、ホスト機関: SAC)

2013年9月7日～13日 APLAC 総会および関連会議 (ベトナム、ホスト機関: BoA)

2014年 PAC・APLAC 合同総会および関連会議 (メキシコ、ホスト機関: ema)

2015年 PAC・APLAC 合同総会および関連会議 (スリランカ、ホスト機関: SLAB)

2016年 APLAC 総会および関連会議 (台北、ホスト機関: TAF)